

教 科	工 業	科 目	繊維・染色技術	単位数	2 単位（4 単位の内）
学 科	繊維デザイン科	学 年	3 学年	コース	繊維コース
学習目標	繊維製品の製造技術に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を培う。				
学習内容	学習項目		学習項目		
	<p>〈繊維技術〉</p> <p>第3章 織物の製造</p> <p>開口運動</p> <p>開口運動の種類と状態</p> <p>タペット式開口運動</p> <p>ドビー式開口運動</p> <p>ジャガード式開口運動</p> <p>よこ入れ運動</p> <p>よこ入れ運動の方法と種類</p> <p>シャトル織機</p> <p>シャトルレス織機</p> <p>箆打ち運動</p> <p>その他の運動および装置</p> <p>巻き取り運動</p> <p>送り出し運動</p> <p>よこ糸選択運動</p> <p>たて止め運動</p> <p>よこ止め運動</p> <p>よこ糸補充運動</p> <p>起動と制御</p> <p>織物設計法</p> <p>柄出しシステムとその応用</p>		<p>・織機の各部分の名称を確認し、各部分で行われている運動の役割を理解している。 【B・D】</p> <p>・織機の構造に興味を持とうとしている。 【A】</p> <p>・ジャガードシステムによる織物製造について理解しようとする。 【A】</p> <p>・織機の主運動である開口・よこ入れ・箆打ちのそれぞれの運動の役割を理解するとともに、それぞれの運動に必要な部品について理解する。</p> <p>・織機の主運動以外の運動について学習し、その役割について理解する。 【B・C・D】</p> <p>・毛織物の分解設計について学習し、色糸効果図、縞割表、必要糸数や重量の計算について理解している。 【A・B・C・D】</p> <p>・ジャガード織物の柄出しシステムについて学習し、CADを用いて織機を運転するためのCGSデータ作成ができる。 【A・B・C・D】</p>		
評価の観点	【A】 関心・意欲・態度 【B】 思考・判断・表現 【C】 技能 【D】 知識・理解				
評価方法	定期考査、出席状況、製作課題、授業態度・意欲による総合評価				
教科書等	新版テキスタイル技術（実教出版）				
備 考	この科目は2～3学年で学習する。3年次では、2単位ずつ分野別指導者を設定する。繊維デザイン科コース科目であり、繊維コース対象に実施する。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。